



{おしらせ} 秋彼岸会行事日程

合 掌

残暑の候、皆様には益々のご健勝の事とお慶び申し上げます。
初秋の風に、いとしい子たちはご家族との遭いあう喜びを感じ祈る
令和四年秋彼岸会合同慰霊祭日程のお知らせをさせていただきます。

期日 九月二十三日(秋分の日)

九月二十五日(日)

読経開始 両日とも午前十一時よりと午後二時

(天候不順の場合は電話にてお問い合わせ下さい)

お参り時間 午前八時～午後五時まで開園しております。

お塔婆料 二、〇〇〇円より三種

供養料 ご予算の範囲内で

何卒皆様のご参列を心よりお待ち申し上げます。



長月

長月(ながつき)とは、陰暦(旧暦)の9月を意味し、
陽暦(新暦)9月の和風月名として知られています。

明治初頭より陽暦(新暦)を採用した日本では、
12か月を1月～12月の数字で表しています。しかし、

それ以前は、季節感がわかるような和風月名で各月を表現しており、
その9番目の月を「長月」としていました。現在でも、

陽暦(新暦)9月に当てはめ「長月=9月の別名」として用いています。

陰暦の9月は、陽暦の9月と時期が違います。陽暦は陰暦から1か月ほど遅れています。

陰暦の9月は、陽暦の9月下旬から11月上旬頃に当たるのです。

長月の語源は諸説あり、新暦の10月上旬から11月の上旬にあたり、夜がだんだん長くなる
月で「夜長月(よながつき)」の略とする説。雨が多く降る時季であるため、「長雨月(ながめ
つき)」からとする説。「稲刈月(いなかりづき)」「稲熟月(いなあがりつき)」「穂長月(ほなが
つき)」の約や、稲を刈り取る時期のため、「長」は稲が毎年実ることを祝う意味からとい
った説。「名残月(なこりのつき)」が転じたとする説などがあります。この中でも「夜長月」の略
とする説は、中古より広く信じられている説で最も有力とされます。

